

## スリランカが教えてくれたこと

栄東中学校 2年 鳥海 誉

憎しみは憎しみによってはやまず、ただ愛によってのみ止む。これはスリランカのジャヤワルダナ元大統領が一九五一年のサンフランシスコ講和会議で仏陀の言葉を引用し日本を国際社会の一員として受け入れるよう訴えた演説の一部です。もしこの演説がなければ日本は分割統治の可能性もあったそうです。この話を聞いた際、僕はそれを知らなかった自分を恥ずかしく思うと共に感謝の気持ちが湧いてきました。地球に生きる私たちにとって何を未来に繋げていくことが大切なのか、僕はジャヤワルダナ元大統領が世界に訴えてくれたように愛を持って接し平和を願う気持ちを僕たちが未来に繋げていく事だと思います。そのために課題があるなら、人と人、国と国とが交わる時、先進国が途上国を支援する時でさえどちらか一方が与えるということは無くお互いに与え合っている事に気づくことだと思います。僕は今年の夏、経済危機に陥っているスリランカに恩返しをしたいという一方的な思いで訪れました。しかし実際には色々なことを学びました。例えば食事もその一つです。偏食気味の僕は現地の料理が食べられるかどうか不安でした。しかし意外にたくさんの料理が食べられました。カレーはやはり辛かったのですが辛さが病みつきになり美味しく食べることが出来ました。不思議に思い現地のガイドさんに聞いたところ、出された食事は無添加の料理がほとんどで、カレーにはデトックス効果もありスリランカ人は調子が悪くなったら薬を服用せずカレー

を食べるそうです。おかげさまで僕はスリランカにいる間、元気に過ごすことができました。またスリランカには、アーユルヴェーダという五千年の歴史を持つマッサージがあり、それは医療行為にあたるそうです。また満月の日は月の引力で感情や行動に影響を及ぼすと考えられている為、休日になりお酒も購入できなくなるそうです。また現地の小中学校の子と交流した際、プレゼントした文房具をきらきらした純粋な目で受け取ってくれました。あまりにも綺麗な瞳でまっすぐ見つめられると思わず目を逸らしてしまうほどでした。お返しにいただいたお菓子を楽しんでいると、日がくれてきて野生の象が出ると聞き慌ててバスに乗りました。僕はこれらの体験から自然と共に生きるスリランカの人達がたくましくそして美しく見え、日本がスリランカから学ばなくてはならない事だと思いました。スリランカのお札にはODAが建設した橋などが描かれており日本に感謝してくれています。

このように世界の国々が互いに学び合えて、愛を持って接する関係であり続ければ争いは少なくなり、平和に繋がるのではないのでしょうか。僕はこのエッセイを通し、ジャヤワルダナ元大統領が繋いでくれたように未来に平和を願う気持ちを繋いでいきたいです。